

見玉文庫〈約20,000冊〉

請求記号 Kod

見玉幸多氏 (1909～2007)

学習院大学名誉教授、元学長。東京帝国大学国史学科卒業後、第七高等学校を経て学習院教授に就任。日本近世農村史、交通史の分野の第一人者。主な著書に『近世農民生活史』、『近世宿駅制度の研究』など。

書籍、目録、報告書、戦前の雑誌類など多岐にわたるコレクション。約16,000冊の書籍のうち地方史関係図書は8,000冊以上に上る。この他に未整理の抜刷や雑誌類、パンフレット類が数千冊ある。執筆・監修に携わった著作物も300冊近く含まれる。

大久保文庫〈約800冊〉

請求記号 Oku

大久保利謙氏 (1900～95)

元名古屋大学教授、立教大学教授。学習院高等科から京都帝国大学を経て東京帝国大学へ。日本近代史学に対する多大な貢献により、'93年朝日賞受賞。祖父は大久保利通(1830～78)。

立教大学の「大久保利謙文庫」は明治維新より大正に至る貴重な日本近代史資料であるが、当館の蔵書は、氏が亡くなる直前まで手元に残していたものである。書きこみや付箋なども多数見られる。これら書きこみなどを同文庫の特徴として、氏が使ったままの状態を残すべく図書の装備を施し、収蔵している。

学習院 考古学文庫〈約400冊〉

請求記号 Gkk

岡田茂弘氏 (1934～)

学習院高等科史学部OB、現大学史学部顧問。国立歴史民俗博物館名誉教授。

学習院には考古学を専攻する学科はないが、史学会(1927年設立)、中・高等科史学部、大学史学部、考古学研究会がつくられ、考古学を盛んにおこなってきた。それに伴う発掘調査報告書、機関誌、図面類などの考古学関係資料約300冊。岡田氏よりの寄贈書が6割を占める。

内藤政恒氏 (1907～70)

学習院中・高等科を経て東北帝国大学に入学後、古瓦や古硯研究をおこなう。昭和32年(1957)歴史考古学会を設立。

古瓦や古硯をはじめとする内藤氏の研究に関する書籍や論文など約100冊。瓦や彫刻の貴重な拓本類などの付属資料もある。

(蔵書数は2012年1月現在)

史料館の文庫を利用するには

木立に囲まれた白い洒落た洋館が史料館です。国登録有形文化財である明治42年(1909)の建築(設計:文部省技師・久留正道)は、外観、内装ともに見どころ満載。明治期から続く学習院の伝統と歴史に触れることのできる空間です。学内外を問わずどなたでも利用できます。図書は館内閲覧のみです。

〈閲覧時間〉月～金 9時30分～17時
(昼休み 11時30分～12時30分)
〈休止日〉土・日曜、祝日、開学記念日(5/15)、
開院記念日(10/17)、博物館実習期間ほか
臨時休館日

詳細は、大学ホームページから確認できます。

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/>

史料館の蔵書は、オンライン所蔵目録(GLIM/OPAC)から検索できます。一部検索できない蔵書もあります。

<http://glim-ir.glim.gakushuin.ac.jp/opac/>

古文書など史料閲覧については予約が必要となります。



史料館



閲覧室

永山文庫〈約1,200冊〉

請求記号 Nag

永山武臣氏 (1925～2006)

松竹株式会社元社長。女子学習院幼稚園から高等科を経て、京都大学卒業。その後松竹株式会社に入社。歌舞伎の発展に尽くし、歌舞伎興行を国内外で定着させるなど演劇界に大きく貢献した。

『歌舞伎年代記』、『松竹社史』など演劇史に関する書物をはじめ、歌舞伎の筋書、献呈版『六代目中村歌右衛門』や谷崎潤一郎の限定版『二月堂の夕』などの稀少本も含まれる。日本近代文学の基礎をなした作家の全集や学習院時代の一級上で松竹入社後も親しく交流のあった三島由紀夫の著書も含まれている。



小川文庫〈約500冊〉

請求記号 Oga

小川恭一氏 (1925～2007)

大名・旗本・御家人を中心とする徳川幕府制度の研究者。江戸文化・風俗の研究者三田村鳶魚(1870～1952)に師事。主な著書に『江戸幕府旗本人名事典』など。

小川氏自身が収集した歴史、美術、茶道関係の蔵書のほか、三田村鳶魚から譲り受けた蔵書など。『江戸百話』、『大名生活の秘話』をはじめ、大正～昭和20年にかけて鳶魚が著した初版本や鳶魚の蔵書印が捺された書物も含まれる。(現在一部整理中)



橋口文庫〈約80冊〉

請求記号 Has

橋口稔氏 (1930～)

東京大学名誉教授、専門は20世紀英国文学。学習院中・高等科を通じて演劇部に所属。日本の古典文学、伝統芸能にも造詣が深い。祖父は児童文学の礎を築いた巖谷小波(1870～1933)。

新劇、歌舞伎など演劇や日本の伝統芸能に関する書物のほか、台本や公演パンフレットからなる。この文庫には、チケットなどの付属資料も含まれる。この他橋口氏の絵葉書コレクション(約500点)は、次回展覧会(→P.1)で公開予定。

桜鞍会文庫〈約330冊〉

請求記号 Uma

桜鞍会 (1942～)

馬術部OB組織。学習院中・高等科では馬術が正課の授業として重んじられ、大正11年(1922)には馬術部が誕生した。

馬術関係の書物や雑誌などには、明治・大正期の洋書もある。そのほか『打毬競技規程』、『打毬のしおり』など日本古来の馬術競技である打毬に関する資料や記録フィルムがある。



ミュージアム・レター第18号

2012年2月16日発行

〒171-8588

東京都豊島区目白1-5-1

電話 03(3986)0221

内線 6569

FAX 03(5992)9219

Gakushuin University Museum of History
学習院大学史料館

● ホームページもご覧ください

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/>